

競技上の注意事項

①会場への移動

車で会場へ着いたら自転車以外の荷物を会場におろして、指定の駐車場に車両を移動してください。駐車したら、自分の自転車で会場へ戻ってください。

※レース時間以外は当然ながら交通規制は行われていません。コースを試走する場合は、交通ルールを遵守し、歩行者や自転車、近隣のみなさまへ迷惑のかかる走行はくれぐれもしないようにお願いします。

②トランジション（バイク預託）

トランジションへ着いたら、バイク・ヘルメットチェックを受けてください。その際、ヘルメットを着用した状態でバイクを持ち込んでください。チェックを受けてから、トランジションへのバイクのセッティングを行ってください。競技に関係のない荷物、邪魔になるような大きな物の持ち込みは禁止です。（JTU 規則 67 条）競技に必用のない荷物や競技終了後に着用するウェアは預託し、バイクの受け取りはバイク競技終了後からとなります。

③選手受付

参加通知書ゼッケン番号にて受付を行います。その際は、ゼッケン、アンクルバンドなどの配布物を受け取り、マジックにて手の甲にゼッケン番号を記入してください。

※スイム周回チェックでゼッケン番号を求められる場合がございます。求められた場合は係員に見えるように提示してください。

④入水チェック

スイム会場へ移動し、入水チェックを受けてください。

※入水チェック後は、競技スタートまでスイム会場から出られません

万が一、会場を出る際には、係員へ声がけください。アンクルバンドを預かります。

⑤ユニフォームについて

競技中はもちろんのこと、競技前後や会場外での上半身裸は、ご遠慮ください。

⑥コース確認・周回チェック

競技のコースについては選手自ら確認をおこない、役員の誘導によりコースミスがあっても、選手の責任となります。（バイクの周回においては、サイクルメーターなどを利用し、選手自身で確認を行うこと）

スイムコースは2周回します。ナンバーの確認及び健康チェックのために選手を止めて確認することもありますので、ご協力をお願いします。

バイク・ランにおいても、折り返し地点で上記同様にナンバーのチェックを行います。

⑦スイムキャブの支給はありません。各自の好みのものを着用してください。

⑧熱中症への対策は選手自身で行ってください。水分補給については、ランコース上で5箇所給水所を設置します。自分で水入りコップを取って飲料してください。自然環境への配慮し、マナー違反をしないよう使ったコップやボトルなどはゴミ入れに投入してください。

⑨途中リタイアする場合

必ず近くの審判員に声かけし、アンクルバンドを渡してください。大会本部にて確認します。

スイム競技を棄権する場合は、陸に向かって手を振ってください。

⑩競技内容の変更・中止及び中断

気象状況・海洋危険生物の出現状況などにより、大会開催が危険と判断される場合は、主催者よりコース・距離などの変更、または中止を発表します。

※スイム競技の中止により、デュアスロンに変更する場合があります。

⑪競技中における事故については、主催者が定めている災害補償規定に基づいて見舞金をお支払いします。それ以外の責任は一切負いません。

⑫自身の健康管理には各自で責任を持ってください。体調不良・異常または故障のために競技継続が困難となったなら近くの係員に声かけし、指示を仰いでください。競技中における事故については、保険に加入していますが、選手などの不注意による事故は保険の対象にはなりませんのでご注意ください。対象外については、選手自身の責任で対応してください。各自が自己管理を十分に行ってください。また、万が一のため健康保険証をご持参ください。

⑬応援活動

本大会は、トランジットエリアの大会本部周辺への立ち入りを制限します。なお、スイム競技の最終選手が歩道橋を通過するまでは制限します。案内放送をお聞きください

⑭お願い

あやほし館横の駐車場は、従業員専用駐車場となっています。こちらへの駐車が発覚した場合、次回以降の大会が開催できない可能性があります。ご協力をお願いします。

競技規則

1 競技規則

- ①日本トライアスロン連合競技規則に準じ一部ローカルルールを適用します。
異議申し立てについては選手が競技終了 30 分以内に書面にて申し出ること。
- ②競技者が健康上危険と判断される場合、審判は強制的に中止させる権限を持ちます。
マリンレスキュー、船舶乗船者、大会スタッフ審判と同等の権限を持ち、宣告を受けた選手はその指示に従わなければなりません。

2 制限時間・リタイア・スキップ

- ①各種目には制限時間を設けます。【スイム】 11:00 【バイク】 12:30 【ラン】 13:30
- ②制限時間内でも以下の場合、リタイアを勧告しあす。
健康上問題があると、審判団・主催者が判断した場合/運営上、支障が出ると判断した場合/勧告を受けたら、競技は継続できません
- ③スイム競技はスタート前もしくは1週回終了後にスキップできます。(バイクスタート時間は審判員の指示に従ってください)
リレーの部でスイムの選手がリタイアもしくは制限時間に間に合わなかった場合もスキップ同様、バイクスタートは審判員の指示に従ってください。

3 トランジション

- ①トランジションエリアへは、選手以外は立ち入り禁止です。また、ゴール後の選手でも、バイク競技終了まで立ち入りを禁止します。
- ②トランジションエリアは、競技コースの一部で、エリア内は乗車禁止です。
- ③ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前しっかりと締めてください。フィニッシュ後は、バイクをかけてからストラップを外してください。
- ④ウェアは必ず着用してください。競技中はもちろんのこと、競技前後や会場内外での上半身裸はご遠慮ください。
- ⑤バイクの乗車ラインを守ってください。

【バイクの乗降車方法】

乗車の場合：選手の足が乗車ラインを越えて、完全に片足の裏全体が地面に着いていること

降車の場合：選手の足が降車ラインの手前で、完全に片足の裏全体が地面に着いていること

4 スイム

- ①ウエットスーツ及びブラッシュガードの着用を推奨します（海洋危険生物対策のため）
- ②計測アンクルバンドの着用を確認してください。
- ③スイムキャブの支給はありません、着用は自由です。
- ④スタート前にスタート前地点、折り返し地点、周回方法を必ず確認してください。
- ⑤ブイなどに捕まっても構いません。ただし、それを伝って進むことは禁止です。
- ⑥スイム競技を中断する場合は、陸に向かって手を振って、係員に「リタイア」の意思を表示してください。

5 バイク

- ①レース中、ウォーミングアップ、バイクに乗車する際には必ず競技用ヘルメットを着用し、ストラップを締めてください。
- ②ひび割れ、表面の不良及びストラップの不良などのあるヘルメットお使用は禁止です。規定のヘルメットをかぶって全体的に偏りなく、少し圧迫感があるくらいのもので、ストラップは止めた状態で指が横に2本入るきつき、頭を前後左右に強くふってずれない程度に調整してください。
- ③自転車はトライアスロンバイク及びロードバイクとします。ハンドルはドロップハンドルを基本にクリップオンバーは外してください。
- ④ペットボトルをバイクに装着することはできません。必ずバイクボトルをご使用ください。
- ⑤ヘッドフォン類、通信機器、携帯音楽プレイヤーなどの携帯は失格とします。
- ⑥ウェアは必ず着用してください（前開きウェアでも着用可能ですがジッパーを下げないでください）
- ⑦コースは周回コースです。選手自身で周回数を確認してください。
- ⑧規制されたでも交通規則を守り、左側走行で競技してください。
※「追い越しは右から」を遵守してください。（対向車に注意）
- ⑨ドラフティング走行・集団走行・伴走は禁止です。違反の場合はペナルティを与えます。

6 ラン

- ①音楽プレイヤーなど、ヘッドフォンを付けての走行は失格とします。
- ②ウェアは必ず着用してください（前開きウェアでも着用可能ですが、ジッパーは下げないでください。）
- ③コースは右側走行です。
- ④ペナルティボックスを設けます。違反があった場合は、ナンバーが表示されます。各自で確認し、ペナルティボックスに入り、タイムスベナルティを受けてください。

競技規則

7 リレー

- ①リレー競技では、アンクルバンドをバトンのように引継ぎます。
- ②引継ぎの場所はトランジション内にあるリレー待機所となります。
- ③次の走者はリレー待機所で待機し、前の走者からアンクルバンドを引継ぎます。
- ④次の走者がアンクルバンドの取り外しを手伝うことは出来ません。
- ⑤次の走者以外がトランジションに入ることを禁止します。前の走者は引き渡し終了後に、速やかに出てください。
- ⑥それぞれの種目での棄権者、あるいは未完走者が出た場合、次の走者は記録なし、表彰対象外での競技続行となります。スタートのタイミングについては審判員の指示に従ってください。

8 フィニッシュ

- ①フィニッシュ時にはレースナンバーを前面に整えてください。サングラスを外すことを推奨します。
- ②ご家族、ご友人など、選手以外の方とのゴールは新型コロナウイルス感染拡大防止により、今大会では禁止とします。また、フィニッシュ会場周辺及びコース上での接触を控えてください。ご協力よろしくお願いします。

9 ペナルティ

- ①トランジション入口付近にペナルティボックスを設置します。違反を行った選手のレースナンバーはペナルティボックス入口に掲示されます。ラン競技中に選手自ら確認して入ってください。
- ②以下3つのいずれかに違反した場合は、3分間のペナルティを与えます。
 - ・受付やトランジションに遅れた場合
 - ・他の選手へ危険が及ぶと予測される行為や違反があった場合
 - ・ボトルやコップ、補給食などのゴミの投棄やレースナンバーの乱れがあった場合
- ③以下3つのいずれかに違反した場合はDSQ（失格）となります。
 - ・ペナルティを受けずにフィニッシュした場合
 - ・ショートカットを行った場合
 - ・大会スタッフや関係者などへ暴言、暴力をふるった場合

10 競技内容の変更・中止及び中断

- ①気象状況などにより、大会開催が危険と判断される場合は、主催者よりコース・距離などの変更または中止を発表します。
※スイム競技のみの中止により、デュアスロンへの変更する場合があります。
- ②競技内容の変更または中止の場合でも、参加費の返金はいたしません。

11 緊急時の対応

- ①緊急時、救急車などの緊急車両が入る際は、競技中でも一時的に競技を止めて、緊急車両を優先して運行します。選手が止まっている時間も競技時間に含まれます。
- ②大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐに係員へお知らせください。

12 各種情報

大会開催判断など、詳細は下記をご確認ください。

【一般社団法人沖縄県トライアスロン連合 HP】

<http://okinawa-tu.jp>

【JTU 規則】

https://archive.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU_COMPETITIONRULES_20190122.pdf